

談話室

数学大好き

NTVアナウンサー
山本真純

(ニュースプラス1ほか担当)



(Q) 数学はお好きですか。

(A) 小学校のときにとにかく算数が大好きだったんです。私は中学受験をしたのですが、中学受験の算数って結構おもしろいじゃないですか、パズル的な要素が多くて。たぶん、芯が理系の人間なんだろうと思うんです。ゲーム感覚ですごく楽しくやっていたんです。国語とか苦痛だったんですけど(笑)。

(Q) 中学から高校ではどうですか？

(A) 数学の成績はひどかったですよ。中3から高1くらいにかけて、勉強もせずに授業中も寝ているような生徒だったので、気づいたら、わけのわからないものがいっぱい出てきているわけです。前のことを勉強しないと、次に進めないじゃないですか。高校受験は、数学が15点で(笑)。

高2から理系と文系に分かれたんですけど、私は文系なんて1ミリも考えてなかったです。進路面談のときに、「進路、どうするんだ」「理系クラスに行きます」と言ったら「無理だろう」って(笑)。でも、あまり深く考えずに、理系に進みました。

実は通っていた塾の先生にすごく親身になって教えていただいたんです。わからなければ授業のあとに個人的に指導してもらったり。できるようになったら、また楽しくて。でも、その先生に教えてもらわなければ、たぶんそうならなかったんですよ。微積分というわけのわからない分野も、目に見えるような説明をしてくれるような先生でした。

小学校の高学年ぐらいの先生がわかりやすく、興味を持たせるような教え方ができないと、今の数学離れ、理系離れというのは恐ろしい状況だと思うんです。理系に対して、潜在的な能力を持っている子はいっぱいいると思うんです。

苦手な気持ちもすごくわかるんですよ、自分ができないときがあったから。ただ、できて楽しい気持ちも

よくわかる。みんな考える作業をしなくなってきているということなのかな、数学離れは。私は逆に、考えるという作業が楽しくて。

(Q) 大学では数学は？

(A) 必修で「数学演習」「数学概論」というのがあって、「数学概論」に至っては1, 2, 3年落として4年でやっと取ったんです。裏にお願い文を書きましたものの。就職も決まっているので、これを落とすと卒業できないんですって(笑)。本当にだめでしたね。

(Q) 今、アナウンサーというお仕事で、数学が役に立っていることはありますか。

(A) どうでしょうね。わからないですけど。でも、自分では気づかないんだけど、「やっぱり理系っぽいね」ということを言われることがあるんです。理屈っぽいんでしょうかね。

(Q) アナウンサーという道を選ばれた動機は？

(A) それはですね、研究生生活に耐えられなくなったから(笑)。あまりに孤独な作業で。

本当は研究者になりたいと思って、生命分子化学、遺伝子の勉強をしていたんです。でも、人寂しくなるんですよ、常に一人で、物が相手で。しかも私がやっていた遺伝子なんて、目に見えないから。

たまたまアナウンサーになりましたけど、人間と仕事をする職業なら、アナウンサー以外でもよかったのかも(笑)。

(Q) 教科書は、昔に比べるとだいぶとつきやすいようにはなりつつありますが。

(A) 小学校では、教科書が楽しかった記憶があります。自分一人で先のほうまで問題を解いたりしていました。大学のときに個人指導の塾で教えたりして思い出のですが、「マイナス×マイナスは何でプラスになるの？」とか、暗記以外の要素があればいいですね。

(Q) 今後、科学番組なんかにはチャレンジしたいというお気持ちはありますか？

(A) もちろん。自分に子供が生まれたら絶対に数学を得意な子にしたいんです。

(Q) 将来の夢がありましたら。

(A) 仕事で挙げるならば、オリンピックとか、世界的なスポーツイベント！やはりそこでできる可能性を持っている職業にいますので、チャレンジしてみたいなという大きな仕事ですね。

(A) 最後に数学の先生にお聞きしたいですか。何で因数分解が必要なのって生徒に質問されたら、何で答えますか。